

# インストール不要！ブラウザ経由で利用するバージョン管理システム 『Webversion』の開発 —ファイル管理に必要な要素を網羅した次世代ファイル管理システム—

## 1. 背景

近年、パソコン・ソフトウェア、それらを取りまく通信環境の著しい発達により、ビジネス用途から個人用途まで、多くの方々がパソコンを活用し、多くの種類のファイルを大量に取り扱うようになりました。

このような状況の中、扱われるファイルの管理は次第に煩雑になっているものの、その管理方法は管理する個人に委ねられており、ディレクトリやファイル名を独自のルールで工夫することで管理されているケースが多く見られます(図 1)。



図 1.手動によるファイル管理の例

一方、ソフトウェアやシステムの開発現場においては、プログラムソースコードが記述された大量のファイルを取り扱うこと、さらに複数人による作業が伴うことから、各種ファイルの管理を行うバージョン管理ソフトウェアのニーズが早くから存在し、実際に利用されているものもいくつかあります。その代表的なものとしては「Subversion」があり、高機能でありながら、修正再配布が自由なライセンスであることから、様々な開発者やコミュニティによる急速な機能強化が行われ、多くの IT 技術者に利用されるようになりました。特に、複数人での協調作業が必須なシステム開発においては、【ファイル上書き防止・バックアップ・進捗管理】等に力を発揮し、作業効率向上の一躍を担っています。

その「Subversion」をはじめとして、バージョン管理ソフトが便利である一方で、その普及が一部の専門的知識を有する人間に限られてしまっている理由は、これらのソフトウェアを利用するためには、サーバーへのインストールや複雑な設定が必要で、IT に詳しくない利用者にとっては導入・利用のとても敷居が高いことが最大の理由として挙げられます。

このように、バージョン管理の必要性は、誰もが認めるところではありますが、従来のバージョン管理システムは、残念ながら、使い勝手が悪く、誰でも手軽に利用できるものではありません。そこで、誰もが簡単に操作できるバージョン管理システムが必要となってきました。

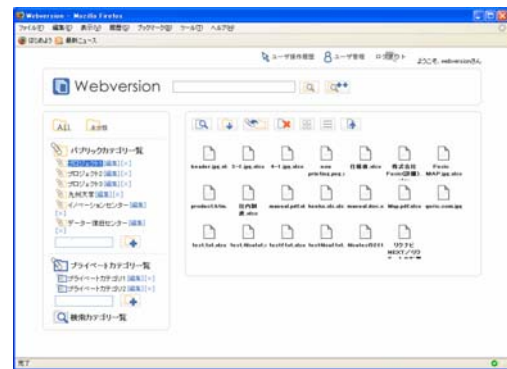
## 2. 目的

本プロジェクトは、専門的知識を必要とせず、利用可能なバージョン管理システムを構

築することを目的とし、オープンソースのバージョン管理ソフト Subversion を Web ブラウザ経由とすること、また、Database との連携により、本来 Subversion が保持しない「検索」「認証」等の付加機能も開発すること(製品名:Webversion)で、各種設定・インストールが不要になるだけでなく、OS などの利用環境に依存しないサービスを実現します。

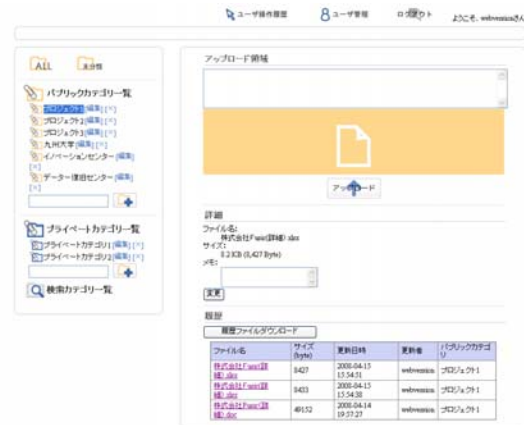
### 3. 開発の内容

Webversion は、「煩雑さからの開放」をコンセプトに、誰もが簡単に操作できるバージョン管理システムを目指し、Fusic が開発したものです。内部のバージョン管理エンジンには、先ほども登場した「Subversion」を活用し、それを Web 上で使い勝手よい操作で活用できるように改良しました。またファイル管理に必要な「ファイル検索」「ファイル共有」「ログイン認証」「操作履歴管理」も新機能として開発し、バージョン管理だけではない、ファイル管理に必要で重要な機能を全て網羅したファイル管理システムとなっています。以下に、Webversion の主な特徴を挙げます。



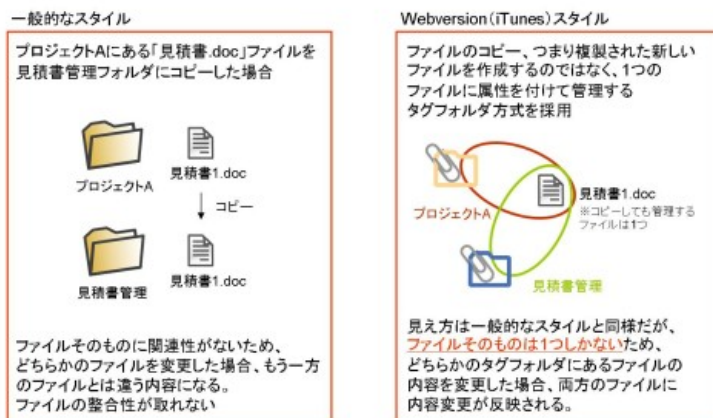
#### 機能1: シンプルな使い勝手

- 共有タグフォルダとプライベートフォルダを活用したファイル整理
  - みんなでファイルを共有する領域と自分だけで管理する領域を1つの画面でわかりやすく分割・管理できるようにしました。
- ドラッグ&ドロップによるファイル操作
  - Web 上で、普段利用する PC 上でのファイル管理と同じ操作感を実現しました。
- 多彩なファイルアップロード方法
  - 従来の Web 上へのファイルアップロード方法に加えて、ファイルをドラッグするだけで保存する方法等、利用シーンに応じた様々なアップロード方法を実現しました。



## 機能2:最先端のファイル管理手法

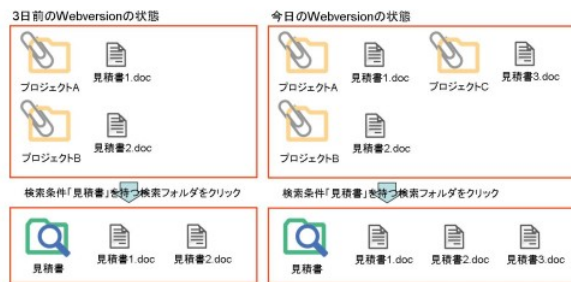
Webversion では、メジャーな音楽プレーヤー等でも採用されている、1つのファイルにいくつもの属性をつけて管理し、あたかも複数フォルダに属しているように管理するスタイル「タグフォルダ方式」を採用しています。この方式を採用することで、1つのファイルを変更すると、他の箇所に散在する同じファイルが自動的に更新・修正されるようになり、また無駄な同じファイルがいくつも存在することによるハードディスク資源浪費に対しても大きな省力化が期待出来ます。



## 機能3:優れたファイル検索機能を搭載

Webversion では、ファイル名・拡張子等のテキスト検索や、更新日時・ファイル容量検索等、見つけ出したいファイルにいち早く到達できるよう様々な手段での検索を行うことが出来ます。

またその検索方法に加え、「検索フォルダ」機能を導入しました。「検索フォルダ」機能は、特定のフォルダに先ほどの検索条件を保存しておく機能です。「検索フォルダ」をクリックすると、常に検索条件にマッチした最新のファイルを自動的に収集します。フォルダをクリックした瞬間に毎回検索を実行し、その検索条件にマッチしたファイルを表示します。すなわち、フォルダをクリックするだけで欲しいファイルを最新の状態で手に入れることができます。



## 機能4:ファイル更新時に自動的にバージョン管理

Webversion で管理されるファイルは全てバージョン管理の対象となります。自分以外の方がファイルを更新しても、過去の履歴ファイルも管理しているので、上書きされて内

容を失ってしまったということにはなりません。また、バージョン管理自体も、ファイルアップロード時に差分を自動計算し、差分が存在すればバージョン管理を行う仕組みとなっています。煩雑なバージョン管理をシステムに全て任せることが可能になりました。

#### 4. 従来の技術(または機能)との相違

前述しましたように、Subversion 等のバージョン管理システムは、IT にある程度精通した技術者しか利用できないのに対し、Webversion は Web サイト上から誰でも操作できるユーザビリティを実現しています。

また、従来のバージョン管理システムは、バージョン管理を行うことのみ機能に特化していますが、Webversion は、ファイル管理に必要な「検索」「共有」「認証」「ログ管理」といった様々な要素も実装しています。

#### 5. 期待される効果

背景でも記載した通り、個人ベースでも複数人でのプロジェクトベースでも、ファイル管理の煩雑さが課題となる場合が多々あります。これはある業種に特化したものではなく、ファイル管理を盛んに行う利用シーンにおいては避けて通れないものであると考えられます。

Webversion はそれらの「煩雑さ」から開放するファイル管理システムとして、利用者のニーズを十分に満たすものです。



#### 6. 普及(または活用)の見通し

10~50人程度の、企業における部署レベル・中小企業レベルに対しての安価な導入を目指します。初年度は、約20企業(800ユーザ程度)への導入を目指しています。

#### 7. 開発者名(所属)

株式会社 Fusic

納富 貞嘉(代表取締役社長)、浜崎 陽一郎(取締役副社長)、宗 孝(技術開発部)

(参考)開発者 URL

<http://www.fusic.co.jp/>